

⑤脳卒中と自動車運転について

当院では脳卒中患者さんが自動車運転の再開を希望される場合、院内で高次脳機能検査を行い、更に必要であると判断された場合、連携している沼田自動車学校でシミュレーションと実車評価を行うことにしています。脳卒中後の自動車運転に関して、国内外で数多くの研究結果が発表されていますが、自動車運転技能と高次脳機能との関連性は解明された訳ではありません。

今回、我々は、沼田自動車学校で行ったシミュレーション結果と当院で行った高次脳機能検査結果をもとに、頭部MRI画像を用いて同定した脳病変部位の結果を含めて解析を行いました。その結果、右大脳半球に損傷があると、左側の見落としが増えることと、情報処理に時間がかかってしまう傾向があることが分かりました。

スマートフォンを操作しながらの運転などの『ながら運転』は、主に情報処理速度の低下を引き起こして事故につながるとの報告が数多くなされています。脳卒中の患者さんの中には『ながら運転』と同じような状況になる方がおられ、事故の危険が増してしまうので注意が必要です。

この結果は今年の3月の脳神経外科の雑誌『Neurosurgical review』誌に掲載されました。この結果を受けて、現在、広島大学工学部と連携し、脳卒中患者さんの運転技能を簡便に検査することで、自動車運転の安全性の向上を図る研究を続けています。

Shimonaga K, Hama S, Tsuji T, Yoshimura K, Nishino S, Yanagawa A, Soh Z, Matsushige T, Mizoue T, Onoda K, Yamashita H, Yamawaki S, Kurisu K. The right hemisphere is important for driving-related cognitive function after stroke. *Neurosurg Rev.* 2020 Mar 11. doi: 10.1007/s10143-020-01272-9.